

1 目指す学校

高い意欲と使命感をもった教職員の協働体制のもと、本校の教育目標である「自主協調」「叡智健康」の具現化に向け、生徒の可能性を最大限に引き出す様々な教育活動を行い、グローバル化する社会で活躍する新しい時代のリーダーを育成する。

◎「自主協調」

個性の伸長に努め自主的に行動するとともに、人格と人権を尊重して互いに協力し合う態度を身に付けさせる。さらに、自律的な態度を伸長するとともに、規範意識を高め、社会の一員として社会に貢献できる人間の育成を目指す。

◎「叡智健康」

高い知性と豊かな情操を養い、自ら学び考え行動する創造力を身に付けさせるとともに、体力を向上させ、社会の発展に貢献し得る心身共に健康な人間の育成を目指す。

(1) スクール・ミッション

「自主協調」「叡智健康」の具現化に向け、国際社会で活躍する新しい時代のリーダーにふさわしい豊かな教養と人間性を育成するため、各種実行委員会による活動などの特色ある教育活動を通じて、「幅広い教養」「豊かな人間性と社会性」「優れた課題解決能力」をもち、グローバル化する社会で活躍できる人材を育成する。

(2) スクール・ポリシー

① グラデュエーション・ポリシー

「幅広い教養」「豊かな人間性と社会性」「優れた課題解決能力」をもち、グローバル化する社会で活躍できる人材。

- 1 国際社会で活躍できる幅広い知識と確かなコミュニケーション能力を有する。
- 2 自ら課題を発見し、道筋を立てて解決に導く、思考力と行動力を有する。
- 3 多方面に興味をもち、自他を尊び協働できる、人間性と社会性を有する。
- 4 自身の個性と適性を理解し、社会の中で自己実現できる能力を有する。

② カリキュラム・ポリシー

- 1 知力・学力、受信力・発信力の育成
- 2 課題発見力、論理的思考力、課題解決力の育成
- 3 行動力、協働力の育成
- 4 自己実現力の育成

③ アドミッション・ポリシー

- 1 本校の教育目標「自主協調」「叡智健康」を理解し、本校への志望の意志が明確である生徒
- 2 学習成績が優秀で、国公立大学や難関私立大学への進学意志が強く、自主的・意欲的に学習に取り組む生徒
- 3 入学後も向学心に燃え、将来の進路実現に向けて常に努力を続けることができる生徒
- 4 学校行事、部活動、有志活動、ボランティア活動等に積極的に取り組み、入学後も継続して活動する生徒
※特に推薦選抜においては、国公立大学への現役合格を目指すという目的意識の高い生徒
※「文化・スポーツ等特別推薦」においては、活動を3年間継続し、学業と両立できる生徒

2 中期的目標と方策

教育目標、目指す学校を具現化するため、「幅広い教養」「豊かな社会性と人間性」「優れた課題解決能力」の向上を、教育活動の目標とする。

- (1) 組織的な教科指導を充実させ、主体的・対話的で深い学びの実現に向け、教科内及び教科間の連携、授業内容や方法の工夫・改善など、3年間を見通した効果的な指導を構築し、生徒の習熟の程

度や学習状況に応じたきめ細かい指導を通して、確かな学力の向上を図る。

- (2) 学習指導要領や大学入学共通テストに対応し、「文化の杜」上野に立地する学習環境を生かした特色ある教育課程の編成及び総合的な探究の時間の構築を行う。
- (3) 高い希望をもち最後まであきらめない進路指導を推進し、進学指導推進校として、国公立大学や難関私立大学への進学実績の更なる向上を図る。
- (4) 望ましい集団活動を通して、個性の伸長を図るとともに、人格と人権を尊重して互いに協力し合う態度を身に付け、よりよい生活や人間関係を築こうとする自主的・実践的な態度を育成する。
- (5) 生命尊重教育の拡充を図るとともに、生徒の主体的な活動を充実させ自己肯定感を高める。
- (6) 基本的な生活習慣の定着を図り、安全指導、問題行動防止、個別の支援教育、いじめ防止に向けた指導を徹底し、健康的な生活習慣や礼儀と規律を身に付けさせる。
- (7) 社会参画意識を高め、成人として自立するための基礎的な能力や態度を育成することを目指し主権者教育の推進を図る。
- (8) 進んで平和な社会の実現に貢献することができるよう、国際理解やボランティアマインドを視野に入れた学習活動などを工夫し、オリンピック・パラリンピック教育のレガシーの推進を図る。
- (9) 学校説明会、見学会、授業公開等の募集活動・広報活動を充実させ、高い志をもった生徒の入学を促進する。
- (10) 生徒による授業評価や学校運営連絡協議会による評価などを活用して学校運営の改善を図る。
- (11) 教育活動内容を積極的に地域に発信し、学校開放（公開講座、施設開放）や地域との連携を進め、地域に貢献できる魅力ある学校づくりを行う。

3 今年度の取組目標と方策 ★は重点目標

(1) 教育活動の目標と方策

【学習指導】

進学指導推進校として、質の高い指導により、全ての生徒の希望進路の実現に向けて、生徒の状況を丁寧把握し、学力の定着を図る。

- ★①習熟度別授業（数学Ⅰ〈第1学年〉、論理・表現Ⅰ〈第1学年〉、数学Ⅱ〈第2学年〉、英語表現Ⅱ〈第2学年〉）や少人数授業（体育〈全学年〉、芸術〈第1・2学年〉）とICTの活用等による、生徒の習熟の程度や学習状況に応じた指導体制のもと、学習に主体的・意欲的に向かわせる。
- ★②朝学習、放課後、長期休業日中の講習、土曜講習、勉強マラソン、自習室の開放などを実施し、生徒の学習意欲を高め、学力の向上を図る。また学習手帳やスタディ・サプリ・TEAMSの活用により、主体的な学習習慣を身に付けさせると同時に、家庭学習時間の増加を目指す。
- ③各教科・科目で読書活動の推進や言語活動の充実を意識した活動を取り入れ、18歳成人に向けて豊かな教養を身に付けさせる。
- ④教職員相互の授業見学や校内研修を通して授業力を向上させるとともに、外部模擬試験結果に基づく分析会を充実させ、生徒の学力を客観的に把握し、組織的かつ計画的な学力の向上を目指す。
- ⑤英語教育研究推進校として、英語に求められる4技能のバランス良い向上を図り、オンライン英会話やスピーチコンテスト等を活用して実践的コミュニケーション能力を高め、資格取得の充実を図る。
- ⑥授業公開週間における土曜日の授業や各学期の始業日・終業日における授業などにより授業時数を確保する。

【進路指導】

進学指導推進校として、希望を高くもち最後まであきらめさせない進路指導を推進する。

- ★①「東大訪問」「オープンキャンパス」「高校生RING」「フロンティア講座」「大学出張授業」「夢ナビプログラム」「ガイダンス」「進路だより」等で、自分の将来の在り方生き方を考えさせ、キャリアパスポートにまとめさせ、自己理解を深めて自己実現できる能力を養成する。
- ②教職員が「3年間のキャリア教育」を共有し、生徒の学力を客観的に分析し、補習・講習や勉強マラソン、面談、進路アンケート、模試分析会、校内予備校等の進学指導を組織的に展開し、目標に向かい学び合う生徒集団を作る。
- ★③「総合的な探究の時間」を中心に、全教科による自ら課題を発見し自ら道筋を立て解決に導く学習活動を通して、幅広い知識の獲得、思考力・行動力を育成する。また研究発表を通して、確かな

コミュニケーション能力も育成する。

④「地域に根ざした」学習での多方面に興味をもち協働する活動で、人間性と社会性を育成する。

【生活指導】

自主性の涵養、思いやりと規範意識の向上及び心身ともに健康な人間の育成を目指す。

★①場に応じた適切なふるまいを身に付けさせ、思考力・行動力、人間性と社会性を育成し、自律的でお互いを尊重する集団をつくる。

★②カウンセリング委員会を中心とした教育相談体制の充実を図り、個々の生徒の状況の把握に努め、個別の支援教育、いじめの防止、命を大切に教育の推進に取り組み、生徒が安心して生活できる環境づくりを進める。

【特別活動・部活動】

上高生としての自覚と誇りを育成する。

★①ホームルーム活動や学校行事、部活動で、道徳教育の充実や、思考力・行動力、人間性と社会性、自己実現できる能力の伸長を図る。

②各学年及び分掌との緊密なる連携の下でホームルーム活動を充実させ、生徒の帰属意識を高める。

③運動会・不忍駅伝（一校一取組）・球技大会等の学校行事や部活動で体力向上の取組を推進する。

【募集・広報活動】

地域に信頼され支えられる活気ある学校づくりを推進する。

★①充実した学校案内の作成、HPの更新、学校説明会、見学会、授業公開、中学校訪問、塾訪問などを一層充実させ、本校の教育活動や成果を積極的に発信すると同時に、本校で意欲的な活動を希望する生徒を募集する。

【学校経営・組織体制】

伝統の上に新しい上野高校をつくり上げ、組織の強化を図る。

★①日々の観察、環境美化の推進、防災訓練・避難訓練による防災教育の充実、薬物乱用防止教室やセーフティ教室、学校保健委員会等の実施により、安全・安心な学校運営に努める。

★②各々が教育公務員としての高い使命感・倫理観をもち、職場のコンプライアンス意識の向上を図る。特に、今年度は、クリーンデスク等による個人情報保護を重点課題とする。

③管理運営規程に基づく企画調整会議を中心とした組織的な学校運営、校務分掌間の協働体制を一層充実させ、校務の円滑な運営と諸課題の解決を図っていく。

④経営企画室の学校経営参画を促進し、効率的かつ効果的な学校経営を行う。

⑤会議や業務の効率化、閉庁日、定刻退庁日、育児・介護支援の取得等により、教職員のライフ・ワーク・バランスを推進する。

(2) 数値目標 ※昨年度の家庭学習時間は2学期と3学期

	【目標】	【昨年度の実績】
①生徒の家庭学習時間	3年生：300分 2年生：150分 1年生：120分	(248.4分) (76.9分、85.6分) (68.4分、72.9分)
②GTECスコア	2年生：840点 1年生：810点	(835点) (805点)
③大学入学共通テスト5教科受験	75人	(70人)
④大学入学共通テスト80%以上得点者	10人	(0人)
⑤進路決定率	90%	(93%)
⑥国公立大学の現役合格者	50人	(50人)
⑦難関私立大学（早慶上理ICU）現役合格者	45人	(41人)
⑧私立大学（GMARCH）現役合格者	235人	(220人)
⑨SC連絡会	11回	(11回)
⑩部活動加入率	90%	(93.5%)
⑪ホームページ更新回数	220回	(310回)
⑫入学者選抜推薦応募倍率	3.0倍	(2.84倍)
⑬入学者選抜一次(前期)最終応募倍率	1.9倍	(1.81倍)
⑭生徒、保護者満足度	80%	(75%)